

就職に関するお悩み出張無料相談

産業環境課 内線272

15歳から39歳までの無業状態にある若者またはその保護者（扶桑町・大町または周辺市町にお住まいの方）を対象に、応募書類の添削、面接対策、適性検査による自分に合う仕事に関する相談等就職全般に関する相談を受け付けています。

「仕事に就きたいけど、何から始めたらいいかわからない」「求職活動をしているが、うまくいかない」とお悩みの方、ご相談ください。

▼日時 10月26日（金）

①午後2時～2時45分

②午後2時50分～3時35分

③午後3時40分～4時25分

▼場所 役場1階 産業環境課前

消費生活相談室

▼内容 キャリア・カウンセラー（就職相談の専門家）による個別相談。

▼費用 無料

▼定員 各回1名

▼問い合わせ いちのみや若者サポートステーション（運営団体：NPO法人ワーカーズコープ）

てください。

一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル6階

☎ 0586 (55) 9286

<http://ichisapo.roukyou.gr.jp/>

丹羽消防署

119番

◆住宅火災のQ & A！

- Q. 住宅火災はどのくらい発生しているの？
 A. 平成29年の1年間で、全国で11,408件の火災が発生しています。
 Q. 住宅火災により亡くなられる方はどれくらいいる？
 A. 平成29年の1年間で、全国で889人の方が亡くなっています。このうち65歳以上の高齢者は646人で、約7割を占めています。また、就寝時間帯に亡くなられる方が最も多いため、寝る前やお出かけ前には火の元など十分に注意しましょう。

◆住宅防火 いのちを守る7つのポイント！

対策4つ

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 就寝時間帯の火災で亡くなられる方が多いため、寝ているときにも火災に気づけるよう住宅用火災警報器を設置しましょう。
 ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎物品を使用する。
 寝タバコから寝具等に着火し、延焼拡大する火災が多くあります。火が燃え移らないよう防炎物品や防炎製品を意識して使用しましょう。
 ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
 てんぷら火災などでは、水をかけると水蒸気爆発等を起こすことがあります。一家に1本消火器を備えましょう。
 ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。
 ご近所さんが先に火災に気づいたり、初期消火をして被害が最小限に収まることもあります。ご近所さんと協力体制を築きましょう。

習慣3つ

- ①寝タバコは、絶対やめる。
 ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

◆見直しましょう！住宅用火災警報器！

住宅用火災警報器が設置義務化されてから約10年が経ちます。10年以上経過すると電池切れを起こしたり、作動不良となったりします。住宅用火災警報器は、あなたやあなたの家族の命を火災から守るためのものです。電池が切れていても設置から10年以上経過している場合は、内部の電子機器が劣化しているおそれがあるため、本体の交換をおすすめします。

定期的な作動確認の実施

点検ボタンを押すか点検ひもを引っ張り、作動確認を行いましょう。作動確認をして反応がなければ本体の故障か電池切れです。少なくとも1年に2回は、作動確認をしましょう。

あってよかった！住宅用火災警報器！

- 夜間、2階にて一家そろって就寝中、1階で充電していたラジコン用バッテリーから出火。住宅用火災警報器の音を聞き、湿らせたタオルを被せて消火した。
- 共同住宅において、居住者が台所にて鍋を火にかけたまま外出。住宅用火災警報器の音を隣人が聞き119番した。

最近では、火災を感知すると他の部屋に設置された住宅用火災警報器も連動して警報を発するタイプもあります。ご自宅の状況に合わせた設置をお願いします。

▼問い合わせ

丹羽広域事務組合 消防本部 予防課 ☎ (95) 5158